

授業紹介「シラバス」

授業科目名：通訳ガイド演習	単位数：2
担当教員名：石井隆之	
対象学生：英文 2abc*	
副題 日本文化の基礎を英語で説明する	
授業の到達目標 日本文化の基礎知識を獲得し、それを英語で簡単に説明する能力を培う。日本の事象について、少なくとも英語を用い50ワードで語る事ができ、少なくとも100ワードで、英文ライティングができることを到達目標とする。	
授業の概要 日本文化のさまざまな側面を学び、日本文化の真髄を探ります。最初の30分は英語による日本文化の講義ですが、残りの60分は実践的な演習をします。 また、同時に、日本文化と比較して、アメリカやイギリスの文化、英語と比較して日本語の特徴などに関する講義や演習も、必要に応じ、本講座の学習プログラムに導入します。 ちょっとした知識を試すクイズ、トピックに関する自由英作文、実際のガイドの場面を設定したロールプレイ、テーマを設定したディスカッション（日本語・英語）などを行う方式も取り入れます。 グループ（または個人）	
授業計画 1.オリエンテーション：通訳ガイドとは？…通訳ガイドの資質と仕事 2.お正月とお盆 3.神道と仏教の違い 4.特別講義(1) 日本の宗教とウチ・ソト・ヨソ 5.能と歌舞伎の違い 6.日本の庭の種類と意味 7.日本文化論(1) 「縮み志向」と「切り志向」 8.特別講義(2) 日本文化は重なり志向 9.日本料理の特徴 10.日本語と漢字の世界 11.日本文化論(2) 「間」の文化論 12.特別講義(3) MタイムとPタイムの文化論 13.プレゼン(1) 14.プレゼン(2) 15.日本文化論・通訳ガイド論の総まとめ 定期試験	
授業時間外の学習について 日本文化を英語で紹介している本などを読んだり、授業で出てきたテーマに関して、ネット上で調べたりしてください。また、授業で提供するトピックのうち、興味のあるものに関して、図書館やネット上で調べたりしてください。さらに、レポート作成の準備のために、ネット上の情報だけに頼ることなく、その分野の本を読むことを心がけてください。	
学生へのメッセージ 日本の文化は身近に触れているにもかかわらず、「いつから？」（起源）や「どうして？」（原因）に関する質問に答えられないということがよくあります。 日本の文化を改めて、見つめなおし、その本質を探り、いろいろな日本事象を英語で説明できたら素晴らしいと思いませんか？ 面白く、ためになり、わかりやすい授業を目指します。 応援しています。	
教科書 なし（プリント教材を利用します）	
参考書 石井隆之、『日本の都道府県の知識と英語を身につける』、ベレ出版、2009年 石井隆之、『日本の宗教の知識と英語を身につける』、ベレ出版、2010年 田中治郎著、山折哲雄監修、『面白いほどよくわかる日本の宗教』、日本文芸社、2005年	
評価方法 授業中の積極性 30 問題意識を持っているか、クイズ、自由英作文、ロールプレイ、討論に参加しているかなど レポート 10 研究意欲と内容（情報提供の論理性・意見表明の獨創性）などプレゼン 10 スピーチ能力に加え、テーマ設定と構成・想像力と創造力を発揮しているかなど定期試験 50 筆記試験で、日本文化の知識と英語コミュニケーション能力をチェック	
京女 AL アクティブ・ラーニング区分 対話型授業、授業時間外学習、グループ学習、ディスカッション、プレゼンテーション	